

令和3年度 <ミニ企画展> 青木幸夫氏「切り絵シリーズ⑮」 “心に残ったものたち”

毎年、ミニ企画展などで見事な作品をご披露いただいていた、青木幸夫による切り絵作品を展示しております。今回は「心に残ったものたち」をテーマに青木氏が長く題材としてこられた、花、仏、風景の近作6点をご覧ください。ご来館の際は、ぜひご鑑賞ください。



今回の展示作品

期 間：令和3年5月1日(土)～6月30日(水)
展示場所：当館1階スロープ 展示スペース
入館料：無料

<ミニ市民ギャラリー>への出展 募集中! 5月末まで

令和3年7月1日(木)～8月31日(火)に開催予定の「ミニ市民ギャラリー」の出展者を募集しております。ふるさと館1階スロープの展示スペースを、地域の皆様による文化作品発表の場として活用していただくことができます。展示期間は、1団体2週間程度です。これまで、パステル画、万年筆絵、絵たより、などといった多種多様な作品を展示いただいております。応募多数の場合は、抽選となる場合があります。ご応募お待ちしております。



展示例

募集期間：令和3年5月12日(水)～5月31日(月)
応募方法：ふるさと館にある利用申込書をご提出ください。
展示スペースはパネル(縦90cm横120cm)3枚分です。
利用料金：無料

【お知らせ】

◆新型コロナウイルスの感染拡大防止等で、行事の開催等が変更となる可能性がありますので、ご了承ください。
※展示替えのため、~~6月9日(水)~~・~~10日(木)~~・14日(月)～17日(木)は、展示室を閉室させていただきます。

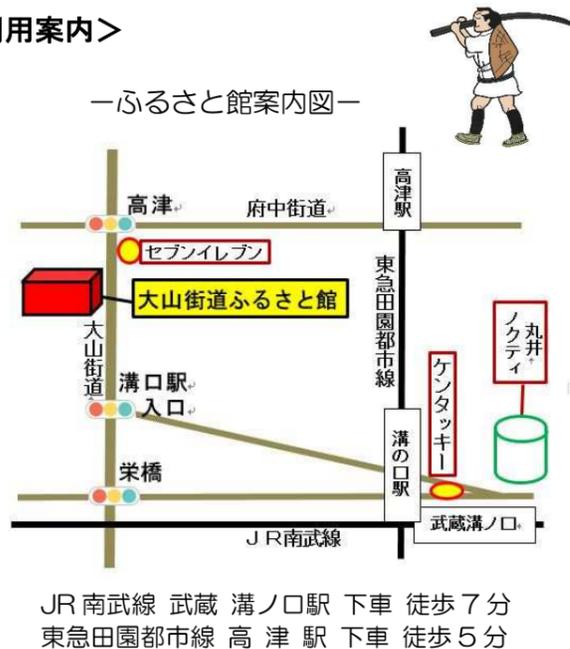
川崎市大山街道ふるさと館 <利用案内>

電話：044 (813) 4705 FAX：044 (712) 0034
〒213-0001 川崎市高津区溝口 3-13-3
開館時間 ・9:30～21:30 (展示室 10:00～17:00)
休館日 ・年末年始(12月28日～1月4日)
施設点検日 ・毎月の最終金曜日 (17時閉館)

※駐車は、貸館の利用団体用として、各団体1台とさせていただきます。

※ふるさと館では、イベントホール(定員64名)、第1会議室(12名)、第2会議室(30名)、和室(10名)が利用できます。「ふれあいネット」からお申込みください。団体登録・個人登録ともに申し込みができます。

URL <http://furusatokan.web5.jp/>



大山街道 ふるさと館だより

No. 66

2021. 5. 6

〒213-0001 川崎市高津区溝口 3-13-3 Tel: 044-813-4705 Fax: 044-712-0034 <http://furusatokan.web5.jp/>

令和3年度 第2回企画展 「絵図・絵葉書・雑誌にみる 高津」開催のお知らせ

江戸時代から高津各地の風景は、絵画や写真などといった媒体によって外の地域の人たちに発信されてきました。例えば、寛政3(1791)年に江戸馬喰町の森屋治兵衛が版元となり、溝口の丸屋が販売した「武陽玉川八景之図」には「綱下松」や「二子の渡し場」など、デフォルメされた溝口周辺の様々な名所が地図の中に描かれています。

また、時代が下り、昭和12(1937)年発行の「アサヒグラフ」には、当時、溝口で経営されていた東京の都市住民向けの貸し出し農園の様子が報じられています。今回の企画展ではそうした、「高津」の様子を外へと伝えてきた資料を通して、地域の歴史を紐解いていきます。

なお、企画展記念講演会は7月開催の予定で調整中です。決まり次第ホームページ等でお知らせします。

期 間：令和3年6月18日(金)～9月26日(日)
時 間：10:00～17:00
場 所：展示室 入場料：無料



溝口を写した絵葉書
(当館所蔵)
上：溝口郵便局
左：七面山からの風景

令和3年度 第1回企画展 「ふれあいクラブ高津 趣味の作品展」の中止のお知らせ

令和3年6月11日(金)～6月13日(日)に、開催を予定していた第1回企画展「ふれあいクラブ高津(高津区老人クラブ連合会)趣味の作品展」は、新型コロナウイルスの影響により、中止となりました。そのため、同企画展の準備・開催の期間としていた6月9日(水)～6月13日(日)については、常設展を開催いたします。なお、6月14日(月)～6月17日(木)は、予定どおり展示替えのため、展示室を閉室とさせていただきます。

ご理解をいただきますようお願い申し上げます。

令和2年度 第4回企画展 「地域が創出するカルチャー展」・「高津のまちアーカイブ展」報告

令和3年2月27日(土)～3月4日(木)に、令和2年度第4回企画展「地域が創出するカルチャー展 ～趣味が創り出す美と感動の世界～」を開催しました。本企画展はふるさと館にて活動している文化団体の作品を展示・紹介するものです。今回は「フラワーサークル リリー」、「なかよしくラブ」、「麦の会」、「高津短歌会」、「高津パステル」の五つの団体が参加し、それぞれフラワーアレンジメント、書道、絵画、短歌といった多彩な作品を、ふるさと館1階の展示室にて披露していただきました。



会場の様子

また、それと同時にふるさと館1階のスロープにて、「高津のまちアーカイブ展」を開催いたしました。地域の歴史を写した古い写真の数々を紹介するもので、今回は「二子三業地」をテーマに、大正末期から昭和初期にかけての二子地区、二子の料亭や芸妓の写真を展示いたしました。

全6日間の日程の間、多くの来館者の皆様にご覧いただくことができましたし、来館者様と出展者様との間に、作品を通して温かな交流が生まれる場面も多かったです。



アーカイブ展示

令和2年度 <ミニ企画展> 「ミニ市民ギャラリー：高津パステル」 報告

令和3年1月5日(火)～3月1日(月)にかけて、ミニ市民ギャラリーとして、第4回企画展にも出展いただいた「高津パステル」様による絵画作品を、ふるさと館1階のミニ企画展スペースにて展示いたしました。

今回は果物や風景、人形などを題材とした個性豊かな全7作品が集まり、館内も華やかな雰囲気となりました。

展示の様子 →



令和2年度 <ミニ企画展> 「大山街道宿場めぐり④ 二子・溝口」 報告

令和3年3月3日(水)から4月30日(金)まで、ふるさと館1階のミニ企画展スペースにて「大山街道宿場めぐり④ 二子・溝口」を開催しました。

大山街道(矢倉沢往還)の拠点をたどりながら、各地域の歴史や特色を紹介してきた、このミニ企画展シリーズですが、今回は地元二子・溝口を特集しました。大山街道のみならず、それと交差する府中街道を往来する人々でも賑わった、この地域の歴史・文化について、知っていただく機会といたしました。



展示の様子

2021年1月12日(火) 令和2年度 第1回まちのマイスター講座 ～人生100年時代～ 「元気に楽しく過ごすために 漢方を活用しよう」 報告



講演の様子

今回のマイスター講座は、講師としてふるさと館の向かいにある「漢方の二葉堂」店長の寒河江二子氏をお迎えしました。

この講座では、病気の際、原因や症状、体質など、全身の状態を総合的にとらえて治療を行うのが漢方の特徴だと説明されていました。元気に楽しく過ごすために日常で気を付けることなど、とてもわかりやすい説明で、受講者も真剣に聞き入っていました。



講演の様子

2021年1月22日(金) 令和2年度 第3回企画展記念講演会 「五榜の掲示が語る明治維新」 報告

この講演会では、青山学院大学経済学部教授の落合功氏に、江戸時代の高札そのものの歴史から、明治維新にあたって「五榜の掲示」が立てられるに至った経緯、制度の変化などについてお話しいただきました。

講演はまず、織田信長によって出された楽市楽座札などといった、安土桃山時代の例も含めた様々な高札についての紹介から始まりました。次に、江戸時代中期に出され、その後幕末まで受け継がれた「元徳の高札」について説明し、江戸時代において制度化された高札について分かりやすく解説してくださいました。企画展と直接関係する幕末の「五榜の掲示」については、実際に当時出された政令文を複数引用し、明治新政府が高札を巡って、キリスト教禁令などといったそれまでの仕組みとどのように向き合っていたのか説明され、企画展で扱った内容の背景についてさらに理解が深まる講演会となりました。



講演の様子

2021年3月20日(土) 令和2年度 第3回ふるさと探究講座 「江戸時代後期、大山街道と俳人たち」 報告

今回の講座では、地域史研究家の相澤雅雄氏に、江戸時代後期に大山街道沿いで栄えた俳諧についてお話しいただきました。講座では、大山街道(矢倉沢往還)は江戸時代には政治・物流・観光と様々な目的で多くの人々が往来し、それに沿う地域には多くの文化がもたらされ発展したことがまず紹介されました。そのような中で、俳諧が盛んに行われた背景には、江戸時代後期に江戸を中心とした周辺地域の経済の発展とともに、大山街道沿いの人々が江戸の文化と深いつながりを持つようになったと考えられること。さらに海運に目を向ければ、江戸と日本各地を結ぶ航路を通じて、静岡や仙台で活動していた俳人とのつながりがあったことも推測されるとの説明がありました。その上で、大山街道で栄えた俳人の集まりとして大規模なものだった「竹家」と「桃家」のふたつの系統が話題の主役となり、各流派が大山街道へ進出するまでの歴史から、当時どのようにして句会が行われ、どのようにして句集が刊行されていたのかなど、江戸時代における庶民の文学活動について、その実態を解説してくださいました。そうした俳人たちが各地に建てた芭蕉の句碑についてもお話があり、それらを実際に歩いて確かめに行きたくするような講演会でした。



講演の様子